

授業科目名： 保育実践研究 A	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2 単位	担当教員名：箕輪潤子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域及び保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的事項		
授業のテーマ及び到達目標 幼児の遊びと環境に関しての理論と実践について、文献購読と議論を通して多様な視点から幼児教育について考えることを目指す。			
授業の概要 幼児の遊びと環境に関する文献購読と実践事例に基づく議論を行う。			
授業計画（100分授業） 第1回：幼稚園教育要領における遊びと環境 第2回：遊びの理論 第3回：環境構成の理論 第4回：幼児教育における遊びと環境構成①：ごっこ遊びと環境 第5回：幼児教育における遊びと環境構成②：積み木遊びと環境 第6回：幼児教育における遊びと環境構成③：砂場遊びと環境 第7回：幼児教育における遊びと環境構成④：遊びと戸外環境 第8回：幼児教育における遊びと環境構成⑤：協同的な遊びと環境 第9回：幼児教育における遊びと環境構成⑥：身体と環境 第10回：幼児教育における遊びと環境構成⑦：音と環境 第11回：幼児教育における遊びと環境構成⑧：製作活動と環境 第12回：幼児教育における遊びと環境構成⑧：低年齢児の遊びと環境 第13回：幼児教育における遊びと環境構成⑨：預かり保育の遊びと環境 第14回：今後の幼児教育における遊びと環境			
テキスト 幼稚園教育要領 プリントを配布する			
参考書・参考資料等 特になし			
学生に対する評価 授業内の課題50％・期末課題50%			

授業科目名： 保育実践研究 B	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2 単位	担当教員名：松田こずえ 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域及び保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的事項		
授業のテーマ及び到達目標			
【授業のテーマ】 幼児教育をめぐるグローバリゼーションとダイバーシティ			
【到達目標】 幼児教育を取り巻く状況について、国際的な視点から多面的に学び、幼児教育・保育に関する新たな視座を得る			
授業の概要			
OECD（経済協力開発機構）を中心とした国際機関が幼児教育の重要性に着目しはじめた1990年代以降、世界の幼児教育についての国際比較調査や各国事情に関する研究の蓄積がある。保育の質の高さは制度、プロセス、保育者、保育内容、その他多様な要因により規定され、各国における状況は異なる。しかし、幼児教育が子どものより良い育ちを目指したものであることは世界共通である点にも目を向ける必要がある。			
本授業では、幼児教育を「社会」「市民」「参加」といった切り口から国際的・多角的な視点で捉え、子どもたちのよりよい未来につながる幼児教育について考えていく。授業のテーマに関する履修学生の興味関心と相互の学び合いを重視し、文献購読、討議を中心に幼児教育に関する専門性を高める。			
授業計画（100分授業）			
第1回：はじめに/世界の幼児教育の現状と課題			
第2回：OECD国際比較調査における世界の幼児教育			
第3回：幼児教育における格差の現状と課題			
第4回：「保育の質」を考える			
第5回：幼児期のジェンダー平等			
第6回：アンチバイアス・カリキュラムと公平性			
第7回：子どもの権利条約と「参加の権利」			
第8回：幼児教育におけるシチズンシップ			
第9回：発展途上国の幼児教育とJICAの活動			
第10回：多文化とダイバーシティの尊重			
第11回：保護者の保育参画、保護者との連携			
第12回：幼児教育とSDGs			
第13回：幼児教育とESD			
第14回：授業全体のまとめ/日本への示唆			
テキスト			
『保育政策の国際比較ー子どもの貧困・不平等に世界の保育はどう向き合っているか』2018、明石書			

店
参考書・参考資料等
『幼児教育・保育の国際比較―質の高い幼児教育・保育に向けて』 2020, 明石書店.
『デジタル時代に向けた幼児教育・保育-人生初期の学びと育ちを支援する』 2020, 明石書店.
『なぜ世界の幼児教育・保育を学ぶのか』 2017, ミネルヴァ書房.
『幼児教育』 2020, ミネルヴァ書房.
学生に対する評価
担当回の発表 (30%)、毎回の授業後の振り返りシート (20%)、レポート (50%)

授業科目名： 保育実践研究C	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2 単位	担当教員名：今福理博 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域及び保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的事項		
授業のテーマ及び到達目標			
教育・保育研究方法論では、教育・保育について研究するために、次の知識・資質を身につけることを目標とする。 ・HAD（統計分析用プログラム）を用いて、データを統計処理することができる。 ・心理学研究法を理解し、教育・保育の研究計画を立案することができる。			
授業の概要			
本授業では、教育・保育研究を行うための基礎となる方法論を学習する。具体的には、文献購読と発表を通じて、データを統計処理する方法と心理学研究法（実験法、観察法、調査法など）を学習する。また、教育・保育の研究計画を立案し、その内容について全体で討論する。			
授業計画（100分授業）			
第1回：ガイダンス、教育・保育研究でなぜ統計が必要なのか、尺度水準			
第2回：データの分布を知る・代表値と散布度、推測統計と統計的検定			
第3回：t検定、カイ 2乗検定、1要因分散分析、2要因分散分析			
第4回：相関分析、単回帰分析、重回帰分析			
第5回：教育・保育研究方法の講読・発表：量的研究（実験法）			
第6回：教育・保育研究方法の講読・発表：量的研究（観察法）			
第7回：教育・保育研究方法の講読・発表：量的研究（調査法）			
第8回：教育・保育研究方法の講読・発表：質的研究			
第9回：研究計画の立て方			
第10回：研究計画の準備			
第11回：研究計画の実施			
第12回：研究計画のデータ分析			
第13回：研究計画のデータ検討・発表準備			
第14回：研究計画のまとめの発表、総括討論としてのディスカッション			
テキスト			
1．小宮あすか・布井雅人 2018 Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける（KS専門書）			
参考書・参考資料等			
1．今福理博 2019 赤ちゃんの心はどのように育つのか:社会性とことばの発達を科学する（ミ			

ネルヴァ書房)

2. 日本心理学会 (執筆・投稿の手びき (2015年改訂版)) (<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/The-JPA-Publication-Manual.pdf>)

3. 保育を高める実践研究の手引き (平成 29 年 9 月一部改訂 全国保育士会) (<https://www.z-hoikushikai.com/about/siryobox/book/tebiki.pdf>)

学生に対する評価

文献購読・発表・討論への参加をもとに評価する。

授業科目名： 保育実践研究D	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2単位	担当教員名：生井亮司 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域及び保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的事項		
授業のテーマ及び到達目標			
本授業は領域「表現」についての理解を深めるとともに、子どもの表現活動における探究の側面を見出すことを目的としている。また領域「表現」の現代的課題と新たな試みについて理解し実践できる力を身につけることを目的とする。			
授業の概要			
保育における「表現」を今日的な問題を参照しながら理論的・実践的に理解できるように計画されている。領域「表現」の成り立ちと他領域との関係性を理解すること。近年、美術教育の世界的潮流ともいえるArts-based Researchに関する概念的な理解と実践的な取り組みを行う。また保育現場でのドキュメンテーションのあり方についても学修する。			
授業計画（100分授業）			
第1回：オリエンテーション			
第2回：保育における表現（造形）			
第3回：保育における表現（身体）			
第4回：保育における表現（音楽）			
第5回：Art-based Researchとは何か			
第6回：A/r/tographyとは何か			
第7回：ABRの実践①見ること			
第8回：ABRの実践②作ること			
第9回：A/r/tographyの実践①歩くこと			
第10回：A/r/tographyの実践②触れること			
第11回：保育のドキュメンテーションとポートフォリオ①テーマの設定			
第12回：保育のドキュメンテーションとポートフォリオ②デザイン			
第13回：保育のドキュメンテーションとポートフォリオ③仕上げ			
第14回：発表および総括ディスカッション			
テキスト			
『新訂 事例で学ぶ保育内容〈領域〉表現』監修 武藤隆、編者代表 浜口順子（萌文書林）			
参考書・参考資料等			
『教職教養講座 第3巻 臨床教育学』矢野智司、西平直 編者（協同出版）			
『美術教育の可能性 作品制作と芸術的省察』小松佳代子 編著（勁草書房）			

『アートグラフィー』 笠原広一、リタ・L・アーウィン編著（ブックウェイ）

学生に対する評価

- 1 担当レジュメの提出と発表 30%
- 2 討議への参加 30%
- 3 最終レポート、作品の提出 40%

授業科目名： 保育実践特別演習	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 4 単位	担当教員名：生井亮司、義永睦子、箕輪順子、今福正博
			担当形態：複数
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域及び保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的事項		
授業のテーマ及び到達目標			
本授業は今日の保育における諸問題を検討するとともに修士論文として研究をまとめていく上での基礎的な知見と方法論を身につけることを目的としている。			
授業の概要			
本授業は保育・幼児教育における国内・海外の研究の動向を探ること、研究方法について学ぶこと、また履修者の研究についての発表・討議を行う。			
授業計画（100分授業×2）			
第1回：オリエンテーション			
第2回：保育と研究			
第3回：量的研究の方法			
第4回：量的研究の研究動向			
第5回：質的研究の方法			
第6回：質的研究の動向			
第7回：保育領域の研究動向（国内）保育学			
第8回：保育領域の研究動向（国内）心理学			
第9回：保育領域の研究動向（国内）哲学			
第10回：保育領域の研究動向（国内）障害児教育			
第11回：保育領域の研究動向（海外）保育学・障害児教育			
第12回：保育領域の研究動向（海外）心理学			
第13回：保育領域の研究動向（海外）哲学			
第14回：前半まとめ 中間発表			
第15回：研究倫理について			
第16回：研究計画作成			
第17回：研究計画発表			
第18回：研究に向けての準備			
第19回：実地調査1回目			
第20回：実地調査2回目			
第21回：実地調査3回目			
第22回：データの分析			
第23回：データの検討			
第24回：研究の考察			

第25回：発表にむけての資料作成

第26回：研究発表

第27回：研究発表のふりかえり

第28回：まとめ

テキスト

質的研究入門―“人間の科学”のための方法論

参考書・参考資料等

フィールドワークの技法―問いを育てる、仮説をきたえる

学生に対する評価

- 1 担当レジュメの提出と発表 30%
- 2 討議への参加 30%
- 3 最終レポートの提出 40%

授業科目名： 教育・発達心理学研究	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2単位	担当教員名：今福理博 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の基礎的理解に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
教育・発達心理学研究を通じて、人間の心の発達について理解し、次の知識・資質を身につけることを目標とする。 ・教育・発達心理における専門的な文献（論文）を収集し、内容を理解し、批判的に考察することができる。 ・教育・発達心理学の研究方法や論文の書き方について理解を深める。			
授業の概要			
教育・発達心理学は、心の発達について科学的な理論とエビデンスに基づいて理解し、教育実践につなげるための学問である。本授業では、心の発達や研究方法について深く理解するため、文献（論文）の概要について発表する。発表者以外の履修者も、事前に文献を講読することを課題とする。また、発表後には、文献の内容について全体で討論する。			
授業計画（100分授業）			
第1回：オリエンテーション：非認知能力とは			
第2回：文献購読・発表・討論：非認知能力（誠実性）			
第3回：文献購読・発表・討論：非認知能力（グリット）			
第4回：文献購読・発表・討論：非認知能力（自己制御・自己コントロール）			
第5回：文献購読・発表・討論：非認知能力（好奇心）			
第6回：文献購読・発表・討論：非認知能力（楽観性）			
第7回：文献購読・発表・討論：非認知能力（感情調整）			
第8回：文献購読・発表・討論：非認知能力（共感性）			
第9回：文献購読・発表・討論：非認知能力（自尊感情）			
第10回：文献購読・発表・討論：非認知能力（セルフ・コンパッション）			
第11回：文献購読・発表・討論：非認知能力（マインド・フルネス）			
第12回：文献購読・発表・討論：非認知能力（レジリエンス）			
第13回：文献購読・発表・討論：非認知能力の発達と支援			
第14回：文献購読のまとめの発表、総括討論としてのディスカッション			
テキスト			
小塩真司 2021非認知能力：概念・測定と教育の可能性（北大路書房）			
参考書・参考資料等			
1. 今福理博 2019 赤ちゃんの心はどのように育つのか:社会性とことばの発達を科学する（ミ			

ネルヴァ書房)

2. 日本心理学会 (執筆・投稿の手びき (2015年改訂版)) (<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/The-JPA-Publication-Manual.pdf>)

3. 保育を高める実践研究の手引き (平成 29 年 9 月一部改訂 全国保育士会) (<https://www.z-hoikushikai.com/about/siryobox/book/tebiki.pdf>)

学生に対する評価

文献購読・発表・討論への参加をもとに評価する。

授業科目名： 特別支援教育研究	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2 単位	担当教員名：岡典子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の基礎的理解に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
特別支援教育についての基本的な知識をもち、今後特別支援教育がどのようにあるべきかについて自分なりの考えを整理できるようになること。			
授業の概要			
特別支援教育の基本的事項について知識を講述する。特別支援教育の歴史や理念、制度、基本的な考え方、教育課程、さらには障害種別による子どもの特性、学校種（各種特別支援学校、小中学校等）による教育実践の特徴と実態などについて学ぶ。併せて、近年日本でも推進されているインクルーシブ教育について、インクルーシブ教育とはどのようなものかを理解するとともに、国際的動向についても知識を得る。			
授業計画（100分授業）			
第1回：障害とは何か			
第2回：特別支援教育とはどのような教育か			
第3回：特別支援教育の歴史（1）世界史			
第4回：特別支援教育の歴史（2）日本史			
第5回：特別支援教育の制度			
第6回：特別支援教育の教育課程			
第7回：障害種別にみる教育の特徴（1）視覚障害教育			
第8回：障害種別にみる教育の特徴（2）聴覚障害教育			
第9回：障害種別にみる教育の特徴（3）知的障害教育			
第10回：障害種別にみる教育の特徴（4）肢体不自由教育			
第11回：障害種別にみる教育の特徴（5）病弱教育			
第12回：通常学校における特別支援教育（1）幼稚園から小学校段階における対応			
第13回：通常学校における特別支援教育（2）中学校から高等学校段階における対応			
第14回：インクルーシブ教育とは何か			
テキスト			
特別支援教育：共生社会の実現に向けて（MINERVAはじめて学ぶ教職） ミネルヴァ 書房			
参考書・参考資料等			
特になし。			
学生に対する評価			
小テスト 20%、発表 40%、学期末レポート 40%			

授業科目名：教育制度研究	教員の免許状取得のための選択科目（幼稚園）	単位数：2単位	担当教員名：藤田祐介 担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標			
・教育制度（特に日本の教育制度）について多角的かつ構造的に理解する。 ・学校・教師に関する諸問題に対し、教育制度との関わりから詳しく分析・考察する態度を身につける。 ・学校・教師に関する諸問題について、教育制度との関わりから多角的・多面的に考察できるようになる。 ・関連文献を収集・参照しながら、学校・教師に関わる諸問題について、教育制度との関わりから検討し、発表することができる。			
授業の概要			
受講生の研究関心を踏まえながら、教育制度（教育行政・学校経営を含む）をめぐる諸課題について検討を行う。授業の内容は、近年の教育改革・教育政策の動向及び教育制度研究に関する文献講読と受講生による報告、相互のディスカッションを中心に構成する。			
授業計画（100分授業）			
第1回：オリエンテーション：授業の方針・内容等の説明、受講生の研究関心の把握等			
第2回：近年の教育政策をめぐる動向と課題			
第3回：日本の教育制度（学校制度）の概要と教育制度研究			
第4回：教育改革関連文献の講読と報告①－教育改革とは何か			
第5回：教育改革関連文献の講読と報告②－日本における教育改革の歩み			
第6回：教育改革関連文献の講読と報告③－教育改革をめぐる論点			
第7回：教育制度研究に関する文献講読と報告①－教育制度の法体系と原理、教育基本法			
第8回：教育制度研究に関する文献講読と報告②－国の教育行政、中央政府（文部科学省）			
第9回：教育制度研究に関する文献講読と報告③－地方教育行政、教育委員会制度			
第10回：教育制度研究に関する文献講読と報告④－初等中等教育制度、小中一貫教育			
第11回：教育制度研究に関する文献講読と報告⑤－学校・家庭・地域の連携、コミュニティ・スクール			
第12回：教育制度研究に関する文献講読と報告⑥－教育課程行政、教員養成制度			
第13回：教育制度研究に関する文献講読と報告⑦－教育制度改革の課題と展望、Society5.0の教育制度			
第14回：授業のまとめとレポート提出			

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

市川昭午『教育改革の終焉』（教育開発研究所、2021年）

学生に対する評価

- ・発表報告：70%
- ・レポート：30%

授業科目名： 比較教育研究	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2単位	担当教員名：見世千賀子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の基礎的理解に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
グローバル化時代の日本の学校教育の課題を理解し、特に、多様性に対応する教育についての概念を理解できるようにする。			
授業の概要			
日本の学校教育の課題に気づき、相対化して検討する上で、諸外国の教育との比較の視点が有効です。授業では、まず、比較教育学、比較教育研究の基礎的事項を踏まえた上で、諸外国の学校教育の共通点や相違点について、学習します。次に、グローバル化時代の日本の教育課題を取り上げて、諸外国、豪州、アジア、欧米等を事例に、比較考察し、検討します。その際、特に、多様性への対応（多文化教育、外国人児童生徒教育、海外帰国子女教育等）、市民性教育（シティズンシップ教育、国民教育）等を取り上げます。最後に、現代的な教育課題について、受講者の問題関心からテーマを設定し、日本と諸外国を比較考察し、報告してもらいます。			
授業計画（100分授業）			
第1回：オリエンテーション：講義の目的と課題			
第2回：比較教育学とは何か、比較教育研究の方法、現代的研究テーマについて			
第3回：グローバル化時代の日本の学校教育の課題			
第4回：日本の外国人児童生徒教育－外国人児童生徒の抱える課題と対応			
第5回：日本の外国人児童生徒教育－子どもの学びをどのように支えるか			
第6回：諸外国の外国人児童生徒教育			
第7回：海外子女教育－日本人学校の教育			
第8回：海外子女教育－アメリカの現地校と補習授業校の教育			
第9回：多文化教育の日豪比較			
第10回：世界の多文化教育			
第11回：市民性教育の日豪比較			
第12回：世界の市民性教育			
第13回：グローバル人材の育成と国際バカロレア			
第14回：現代的教育テーマに基づく比較研究の報告			
テキスト			
額賀美紗子、移民から教育を考える、ナカニシヤ出版			

参考書・参考資料等

長島啓記、基礎から学ぶ比較教育学、学文社

二宮皓、世界の学校、学事出版

村田翼夫、多文化社会に応える地球市民教育、ミネルヴァ書房

外国につながる子どもたちの物語 編集委員会、まんがクラスメイトは外国人 多文化共生20
の物語、明石書店

佐藤郡衛、多文化社会に生きる子どもの教育、明石書店

学生に対する評価

発表50%、レポート50%

授業科目名： インクルーシブ保育 特別演習	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2単位	担当教員名：義永睦子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の基礎的理解に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
特別支援教育・保育について、ソーシャルインクルージョンの考え方を原点として、どの子どもものニーズも視野に入れながら子ども一人一人が育ち合う保育集団のあり方について、理解し、教育・保育実践における課題とその解決に向けて、検討し、理解を深める。			
授業の概要			
ソーシャルインクルージョン、障害児保育、特別支援教育の理念と目標について理解すると共に、実際の保育場面での個々の育ちと個と集団の育ち合いの実現について、保育実践を通して検討し、理論と技法を学び、教育・保育実践力を培う。			
授業計画（100分授業）			
第1回：ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョン			
第2回：ソーシャルインクルージョンから特別支援教育への展開			
第3回：発達支援から多様性の包含、ソーシャルインクルージョンへ			
第4回：幼稚園・こども園等における特別支援保育の実際(1)ー子どもの育ち合いを支える			
第5回：参加観察事例の検討(1-1) 状況分析			
第6回：参加観察事例の検討(1-2) 発達の視点から支援とかかわりの手だてを考える			
第7回：参加観察事例の検討(1-3) 関係発展の視点から保育場面のかかわりの手だてを考える			
第8回：幼稚園・こども園等における特別支援教育の実際(2)ー保護者も含めた支援			
第9回：実践事例の検討(5-1) 状況分析			
第10回：実践事例の検討(5-2) 発達の視点から支援とかかわりの手だてを考える			
第11回：実践事例の検討(5-3) 子どもの関係発展の視点から支援とかかわりの手だてを考える			
第12回：実践事例の検討(5-4) 親子関係の発展の視点から支援とかかわりの手だてを考える			
第13回：実践事例の検討(5-5) 保護者と関係機関、小学校との連携から手だてを考える			
第14回：期末課題レポートの作成			
テキスト			
武藤久恵・小川英彦編著「コンパス 障害児の保育・教育」建帛社、2018			
鳥海順子・義永睦子「子ども理解と教育相談ー移行期支援の視点からー」東洋館出版社、2021			
参考書・参考資料等			
文部科学省「社会的包摂に関する課題について検討する視点について」 https://www.mext.go.			

jp/content/1421773_5.pdf

文部科学省中央教育審議会「特別支援教育を推進するための制度の在り方について（答申）」

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05120801.htm「

文部科学省「障害者施策を巡る国内外の動向」https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/attach/1396563.htm

国立特別支援教育総合研究所「サマランカ声明」https://www.nise.go.jp/blog/2000/05/b1_h060600_01.html

文部科学省「特別支援教育」https://www.mext.go.jp/a_menu/01_m.htm

学生に対する評価

授業内課題、保育場面での実践、討論、考察の総合的評価50%、期末課題レポート50%

授業科目名： 教育・保育学特論	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2 単位	担当教員名：生井亮司 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の基礎的理解に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
保育・教育に関する哲学的研究・表現論研究を通して、人間の発達における表現の意味を理解する。とりわけ現象学的に保育・教育を検討する。			
授業の概要			
保育・教育学を深く思考するためには人間学としての理解が必要である。本授業では臨床教育学、教育人間学、美的人間形成に関する文献を輪読することを通して、自己の保育・教育における問題意識との関係を探る。また「子どもの哲学対話」についての考察も行う。			
授業計画（100分授業）			
第1回：オリエンテーション			
第2回：文献購読・発表・討論（臨床教育学と教育人間学）			
第3回：文献購読・発表・討論（現象学からの考察）			
第4回：文献購読・発表・討論（現象学と表現論 [パウル・クレールを手がかりに] ）			
第5回：文献購読・発表・討論（現象学からの考察「あいだ」の問題）			
第6回：文献購読・発表・討論（京都学派の表現論 [木村素衛] ）			
第7回：文献購読・発表・討論（京都学派の表現論 [木村素衛] ）			
第8回：文献購読・発表・討論（京都学派の表現論 [西田幾多郎] ）			
第9回：文献購読・発表・討論（京都学派の表現論 [西田幾多郎] ）			
第10回：文献購読・発表・討論（表現論と東洋思想）			
第11回：文献購読・発表・討論（哲学と子ども）			
第12回：文献購読・発表・討論（哲学対話と子ども）			
第13回：文献購読・発表・討論（哲学対話と子ども）			
第14回：文献購読のまとめの発表、総括討論としてのディスカッション			
テキスト			
『教職教養講座 第3巻 臨床教育学』 矢野智司、西平直 編者（協同出版）			
『幼児理解の現象学 メディアが開く子どもの生命世界』 矢野智司（萌文書林）			
参考書・参考資料等			
『表現愛』 木村素衛（こぶし書房）			
『ライフサイクルの哲学』 西平直（東京大学出版会）			
『メルロ＝ポンティ 現れる他者／消える他者「子どもの心理学・教育学」講義から』 酒井麻依			

子（晃洋書房）
学生に対する評価 1、 担当レジュメの提出と発表 30% 2、 討議への参加 30% 3、 最終レポートの提出 40%

授業科目名： 保育学特別演習	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2 単位	担当教員名：淀川裕美 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の基礎的理解に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
子どもの主体性、保育と発達、対話等について書籍や論文の講読を通して学び、議論する。 本授業では、実践事例や学術的な観点を通して、受講者自身の保育観や子ども観を振り返り、考えること、保育実践の研究に親しむこと、担当講師や他の受講者と対話することで、様々な考え方や価値観があることを体験することを目標とする。			
授業の概要			
子どもの主体性、保育と発達、子どもの権利、対話等について、テキストを読み議論するとともに、受講者が体験した／見聞きした保育や子育てのエピソードをもとに対話する。			
授業計画（100分授業）			
第1回： オリエンテーション			
第2回： 子どもと「主体性」			
第3回： 保育における子どもの主体性と対話			
第4回： 保育における子どもの居場所			
第5回： 主体性について実践を通して考える			
第6回： 子ども観の変遷と子どもの権利			
第7回： 保育における「発達」			
第8回： 発達を関係論的に考える			
第9回： 保育と発達について実践を通して考える			
第10回： 保育における「遊び」			
第11回： 保育における「つながり」			
第12回： 保育における遊びやつながりについて実践を通して考える			
第13回： 保育の振り返り、保育をともに語ること			
第14回： 園内研修や公開保育を通して、子どもの姿を考える			
テキスト			
初回の授業で紹介する。			
参考書・参考資料等			
授業内で適宜紹介する。			
学生に対する評価			
授業での発表（30％） 議論への参加（30％） 最終レポート（40％）			

授業科目名： 教育カウンセリング 研究	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2単位	担当教員名：義永睦子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
【授業のテーマ】			
(1) カウンセリングマインドを保育・教育の実践、家庭・保護者との連携に活かせる力をつける			
(2) 子供に関する様々な問題について、他の保育者や教員、専門家等との連携・協力体制を活用しながら解決していく力をつける			
(3) 子供理解の方法として、生物的・心理的・社会的側面からの全人的、総合的、関係的な見方を身に付け、学級経営および授業・保育の展開等などにおいて子供の実態に合わせ調整する力をつける			
(4) 保幼小接続支援の視点から、乳幼児期の保育現場および小学校等の現場での実践に理解を深め、教育カウンセリングに活用できる力をつける			
【到達目標(総合)】			
1. カウンセリングマインドを生かした幼児・児童・生徒理解の視点を持つことができる。			
2. カウンセリングの基礎的な理論と方法及び技法を学び、理解を深めている。			
3. 教育カウンセリングに関する基礎的な知識を身につけている。			
4. 教育カウンセリングの展開、実践について、理解を深め、課題について検討する。			
5. 教育カウンセリングの場面において幼児・児童・生徒や保護者とかかわる基本的態度について、理解し、身に付ける。			
6. 教育カウンセリングの場面において幼児・児童・生徒や保護者とかかわるための方法および技法を身につけている。			
授業の概要			
人格形成の基礎を培う乳幼児期の子供・保育の評価、問題状況の把握の仕方について、多面的、関係的な視点から捉える理論と方法を学ぶ。また、子供理解を保護者と共有しカウンセリングを行う、また、予防的カウンセリングの視点からの保護者とかかわりやコンサルテーションについて、理解を深める。また、保幼小接続期支援の視点から、小学校以降の子供の評価・幼児期の評価のそれぞれの特色、学校現場での受入の工夫、小学校での教育相談についても理解し、保育における教育カウンセリングに活用できるように備える。			
授業計画（100分授業）			
第1回：乳幼児の理解と教育カウンセリングの意義(1)－乳幼児期の保育と子どもの課題			

第2回：乳幼児の理解と教育カウンセリングの意義(2)－子ども理解を基盤とした保育の展開
 第3回：乳幼児の理解と教育カウンセリングの意義(3)－子どもの全体的、関係的把握と評価(アセスメント)の考え方
 第4回：乳幼児の理解と教育カウンセリングの意義(4)－予防的カウンセリングとしての保護者と子ども理解の共有
 第5回：乳幼児の理解と教育カウンセリングの意義(5)－保幼小接続支援からみた専門機関、小学校等との連携
 第6回：保育における教育カウンセリングの理論(1) 多面的・関係的な問題把握とカウンセリングの基本的態度
 第7回：保育における教育カウンセリングの理論(2) 生物-心理-社会モデルによるアプローチ
 第8回：保育における教育カウンセリングの理論(3) 乳幼児期カウンセリングの複合的關係構造
 第9回：保育における教育カウンセリングの方法(1) 参加観察法、面談法
 第10回：保育における教育カウンセリングの方法(2) 心理検査法
 第11回：保育における教育カウンセリングの実際(1) 保護者とコンサルテーションと相談プロセス
 第12回：保育における教育カウンセリングの実際(2) 専門機関との連携
 第13回：保幼小接続支援と教育カウンセリングの実際(1) 保育現場における支援
 第14回：保幼小接続支援と教育カウンセリングの実際(2) 小学校現場における支援

テキスト

『子ども理解と教育相談 移行期支援の視点から』鳥海順子・義永睦子編著、東洋館出版社2021

『幼児理解に基づいた評価(平成31年3月)』文部科学省https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/07121724/_icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1296261_1.pdf

(冊子版:)文部科学省『幼児理解に基づいた評価(平成31年3月)』チャイルド本社、2019 250円(+税))

参考書・参考資料等

厚生労働省 『保育所保育指針解説書』

文部科学省 『幼稚園教育要領解説』

内閣府、文部科学省、厚生労働省著 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』

『演習・保育と子育て支援』小原敏郎・橋本好市、三浦主博 (株)みらい2019年

『子どもの理解と保育・教育相談』小田豊、秋田喜代美編、(株)みらい2008年

資料1. 文部科学省「新幼稚園教育要領のポイント」

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/044/001/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2017/08/28/1394385_003.pdf

資料2. 文部科学省「幼稚園教育要領比較対照表(平成29年3月)」

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2018/03/29/138461_3_1_1.pdf

資料3. 「幼稚園教育要領解説(平成30年3月)」

文部科学省/著(フレーベル館)本体価格：240円(税別) ISBN：9784577814475

※ 文部科学省の下記URLよりダウンロードも可。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2018/04/23/1401777_001.pdf

学生に対する評価

授業内課題、発表、討論への取り組み50%、期末レポート50%

授業科目名： 幼少接続教育研究	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2単位	担当教員名：箕輪潤子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標 幼児教育と小学校教育の接続に関する理論と実践に関して、基本的な知識を身につけると共に、望ましい幼小の連携・接続のあり方について考える			
授業の概要 幼児教育と小学校教育の連携・接続に関する理論と実践に関する文献購読とディスカッションを行う			
授業計画（100分授業） 第1回：幼児教育と小学校教育の接続・連携 第2回：幼児教育と小学校教育の理論①：幼児教育の基本理念（幼稚園教育要領総則の理解） 第3回：幼児教育と小学校教育の理論②：幼児教育の基本理念（保育内容） 第4回：幼児教育と小学校教育の理論③：幼児教育の基本理念（幼児理解と評価） 第5回：幼児教育と小学校教育の理論④：小学校教育の基本理念（学習指導要領総則の理解） 第6回：幼児教育と小学校教育の理論⑤：小学校教育の基本理念（教育の方法と評価） 第7回：幼小接続の理論と実践①：幼小の連携・接続の背景 第8回：幼小接続の理論と実践②：幼小の交流・教職員の連携 第9回：幼小接続の理論と実践③：資質能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 第10回：幼小連携・接続の理論と実践①：子どもの理解と要録 第11回：幼小連携・接続の理論と実践②：スタートカリキュラムの考え方と実際 第12回：幼小連携・接続の理論と実践③：生活科の考え方と実際 第13回：幼小連携・接続の理論と実践④：各自治体・園・学校での具体的な取り組み 第14回：これからの幼小連携と接続			
テキスト 幼稚園教育要領・小学校学習指導要領　その他の資料は配布する			
参考書・参考資料等 特になし			
学生に対する評価 授業内の課題50％・期末課題50％			

授業科目名： 教職実践特論研究（幼児教育）	教員の免許状取得のための 選択科目（幼稚園）	単位数： 2単位	担当教員名：義永睦子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
乳幼児教育に関する社会の現状と社会的要請に即応した保育者の役割と実際について、保育現場での実践を通して理解を深め、教職・保育実践力を向上させる。			
授業の概要			
乳幼児教育における保育者の役割を保育現場での実践を通して理解を深め、教職・保育実践力を向上させることを目的に、幼保連携型認定こども園、幼稚園、子育て支援等の場と連携し10日間の実践研究を行う。実践研究日には、幼児教育・保育実践、現場保育者とのディスカッション、実践体験の省察等を行い、学修を深め、教職・保育実践力を磨く。			
授業計画（100分授業）			
第1回：実践研究実施ガイダンス 保育現場連携実習研究の概要			
第2回：事前研究 実践研究のテーマおよび自己課題の設定、準備計画の作成、実習先で必要となる知識やスキルについての準備を行う。			
第3回：実地オリエンテーション、見学実習、施設の概要と保育の実際についてのガイダンス			
第4回：実践研究1日目			
第5回：実践研究1日目			
第6回：実践研究2日目			
第7回：実践研究2日目			
第8回：実践研究3日目			
第9回：実践研究3日目			
第10回：実践研究4日目			
第11回：実践研究4日目			
第12回：実践研究5日目			
第13回：実践研究5日目			
第14回：現場保育者とのディスカッション、ロールプレイと実践体験の振り返り(1)			
第15回：実践研究6日目			
第16回：実践研究6日目			
第17回：実践研究7日目			
第18回：実践研究7日目			
第19回：実践研究8日目			
第20回：実践研究8日目			

第21回：実践研究9日目

第22回：実践研究9日目

第23回：実践研究10日目

第24回：実践研究10日目

第25回：現場保育者とのディスカッション、ロールプレイと実践体験の振り返り(2)

第26回：実践体験の省察、報告書の作成

第27回：実践研究報告会におけるプレゼンテーション

第28回：まとめ

テキスト：小原敏郎・神蔵幸子・義永睦子編著「保育・教職実践演習-保育者に求められる保育実践力(第2版)」建帛社、2018

参考書・参考資料等：日本心理劇学会監修「心理劇入門-理論と実践から学ぶ」慶應義塾大学出版会、2020

学生に対する評価：ディスカッション、授業内課題、実践研究記録、報告書等の成果物を総合的に評価する。

授業科目名：	教員の免許状取得のための	単位数：	担当教員名：義永睦子
子ども子育て支援研究	選択科目（幼稚園）	2単位	担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標			
日本の子育て支援の歴史的変遷、世界の乳幼児教育・子育て支援・保護者支援の動向について理解を深め、ESD(持続可能な開発のための教育)およびSDG4.2(乳幼児期からの質の高い教育の開発、ケア及び就学前教育へのアクセス)について、乳幼児の保育及び保護者との関係形成について考察を深める。			
授業の概要			
日本および世界の保育及び保護者とのかかわりに関する動向やその考え方、関係改善および関係発展のための理論と技法と実際について学び、親子、保育集団、地域における子どもが育つ環境の向上、保護者の養育力向上、および子どもと保護者の関係が充実発展するための考え方と具体的方法について理解する。			
授業計画（100分授業）			
第1回：日本における「子育て支援」の取り組みの変遷と現代の課題			
第2回：世界の保育における保護者の位置づけの国際比較			
第3回：保育所における子育て支援			
第4回：幼稚園における子育て支援			
第5回：幼保連携型認定こども園における子育て支援			
第6回：保護者との子ども理解、保育観の共有と保護者との信頼関係の形成、支援ニーズの把握			
第7回：生物・心理・社会モデルによる問題の多面的・関係的把握			
第8回：子ども・保護者の状況・状態の把握と養育力向上			
第9回：社会及び家庭の環境の状況把握と養育力向上			
第10回：関係把握の基礎理論			
第11回：事例検討(1)－関係構造の分析・理解			
第12回：関係発展の理論と技法			
第13回：事例検討(2)－関係発展のための状況づくり			
第14回：期末課題レポートの作成			
テキスト			
小原敏郎・三浦主博編著「保育実践に求められる子育て支援」ミネルヴァ書房, 2019			
日本関係学会編「関係〈臨床・教育〉一気づく・学ぶ・活かす」不昧堂出版, 2011			
参考書・参考資料等			
OECD編著「Starting Strong II (OECD保育白書 人生の始まりこそ力強く:乳幼児期の教育とケ			

ア(ECEC)の国際比較)」. 明石書店, 2011

OECD編著「Starting Strong III (保育の質向上白書 人生のはじまりこそ力強く:ECECのツールボックス)」明石書店. 2019

泉千勢、一見真理子、汐見稔幸編著「世界の幼児教育・保育改革と学力」明石書店. 2008

ルドヴィク・ガンバロ、キティ・スチュアート、ジェーン・ウォルドフォーゲル編著、山野良一・中西さやか監訳「保育制作の国際比較—子どもの貧困・不平等に世界の保育はどう向き合っているか」明石書店, 2018

国立教育政策研究所編「幼児教育・保育の国際比較—OECD国際幼児教育・保育従事者調査2018報告書」明石書店, 2020

アンドレアス・シュライヒャー著、OECD編、一見真理子、星美和子訳「デジタル時代に向けた幼児教育・保育—人生初期の学びと育ちを支援する」明石書店, 2020

学生に対する評価

授業テーマについての発表及び討論30%、授業後小レポート30%、期末課題レポート40%